参考資料

ちゅらさき技能検定

「ちゅらさき技能検定」と銘打ち、職業班「オフィスアシスタント班」「介護コミュニケーション班」「エコロジーサービス班」の1年の集大成として、それぞれの班で学び、習得した知識、技能を確認、披露する場と設定した。(高等部3年生最後の職業の授業にて、高等部2,3年生合同で実施した。)

● 日時:令和5年3月13日(1~3校時)・・・ちゅらさき検定

(4校時)・・・反省会(合格証書授与、講評など)

①検定の様子

(オフィスアシスタント班)





(介護コミュニケーション班)





(エコロジーサービス班)



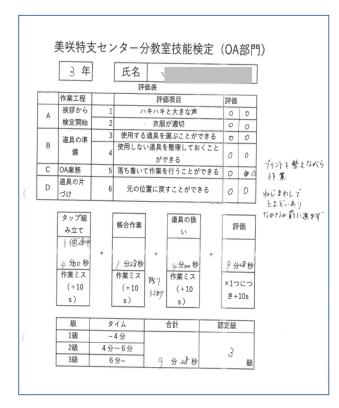


②検定検査項目

・検定内容や評価項目、評価基準に関して、一人の生徒に割り当てる時間を検討し計画を立てた。その際、「企業就労」に必要な力という視点で、各班、評価規準を厳しく設定した。

【 オフィスアシスタント班 検定結果】

	2年	3年
	(6名)	(5名)
1級	0	1
2級	1	1
3級	6	3



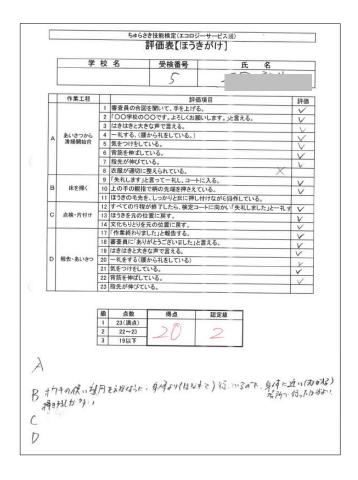
【 介護コミュニケーション班検定結果 】

	2年	3年
	(6名)	(5名)
1級	1	1
2級	2	2
3級	3	2



【 エコロジーサービス班検定結果 】

	2年	3年
	(12名)	(9名)
1級	0	2
2級	0	4
3級	1 2	3



③ 「ちゅらさき検定」の評価と課題

- ・どの生徒達も緊張感を持ち、真剣に検定に挑む姿が見られた。
- ・各班、評価表を生徒に返却した。休み時間に、1級を取得した同級生や先輩と自分の評価表を見 比べる生徒が多くいた。評価表を見比べ、悔しがり「次は一級を取得する」と意気込む生徒や、 「先輩のようになりたい」と憧れを抱く生徒が見られた。検定時にグループで互いの様子を見学 できたこと、評価表で互いの評価を見比べることができたことで、自分や相手の成長や課題に気 付き指摘、教えあうなど互いに切磋琢磨する姿が見られた。
- ・しっかり習得している内容、定着まで至っていない内容が明確に分かり、授業者にとっては授業 の振り返りとなった。
- ・各作業の内容、目標、作業手順、「企業就労に必要な技能」を多くの生徒、職員が共通認識した
- ことで、職員は指導に一貫性を持つことができ、生徒は学びの内容が明確になったと考える。その成果が、生徒の普段の清掃手順や清掃に向かう態度などに変化として現れている。
- ・次年度の「ちゅらさき検定」は、各職業に関する実技検定と筆記試験を行い「職業に関する技能」の他に「職業に関する知識」についても学びの振り返り、確認を行う。

